

講義名	経営情報システム論		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>経営情報にICTを活用するのは現在では当然のことのように行われています。企業がコスト削減などの効率化やより早く優れた製品・サービスを開発するためには、経営情報の処理のためにICTを利用することが不可欠になってきているからです。</p> <p>授業では、ICTの活用事例を多く紹介し、個々の企業に適した経営情報システムとはどのようなものか、将来に自らの職場で見学できる見識を養成します。</p>			

到達目標			
組織運営における問題について、情報システムによる改善提案ができる。			

提出課題			
授業の理解を深めるために、授業内容について自分なりの解釈を提出課題とします。			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
課題の解説を行います。			

評価の基準			
提出課題の内容を総合的に評価します。提出課題の不提出は即不合格になります。			

履修にあたっての注意・助言他			
良い成績を修めるには、RYUKA Portalでの配布資料のほかに、ノートを書くことが必要です。配布資料上にノートを書くためにタブレットPCなどを活用するのはよいことです。			

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
講義内容は事前にRYUKA Portalの講義配布資料に保存して学生と共有します。以下の雑誌、ホームページを参考文献とします。 ① 作研社 ダイジェスト・レポート・レビュー誌 アジデント社 アジデント誌 CNET Networks社 CNET newsサイト http://news.cnet.com/ 日経BP社 クロステックサイト https://tech.nikkeibp.co.jp/

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに（授業のねらい説明など） 2 業務と情報システム 3 業務の効率化に寄与するICT 4 業務の高度化に寄与するICT 5 新しい業務を創りだしたICT 6 組織における情報システムのインフラストラクチャー 7 情報通信ネットワーク 8 企業間情報システムの発展 9 企業間情報システムの標準化 10 日本政府の経営情報システムに対する取り組み 11 法律と経営情報システム 12 企業における情報システムのセキュリティー 13 国内の経営情報システム構築の歴史 14 国内の経営情報システムの進化 15 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
授業で使う資料は、RYUKA Portalの「講義のお知らせ」にて事前に配布しますので、予習・復習に利用してください。	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
